
架空第三次世界大戦～日本の未来は～

ラキア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

架空第三次世界大戦〜日本の未来は〜

【Nコード】

N4168I

【作者名】

ラキア

【あらすじ】

1950年にもしも日本が再軍備していたら……
それから60年後の戦争にどう対処するか？

(注) 1939年以降の歴史がかなり改竄されていますのでご注意ください。

序章 60年前・再軍備打診

西暦1950年11月23日

AM02:05

旧大日本帝国帝都東京

総理官邸

1945年……今から5年前の事だ。

あの年、日本は滅びた。

京都や奈良を除くあらゆる都市は爆撃によって焦土と化し、長崎、広島、『小松』に至っては連合国の新型兵器、『原子爆弾』が使用され、都市そのものが消失する程の大被害を被った。

最終的には日本政府は連合国が提示した降伏勧告である『ニユルンベルク宣言』を受諾。

戦争は終結した。

2

しかし、国土全てが破壊された状態で、復興への期待が持てよう筈も無かったのだ。

その上、連合国は日本から外交権や国防権を奪い去り、内政にまで干渉すべくGHQ（連合国軍事最高司令官総司令部）なる組織まで創ったのだ。

これは明らかな植民地、属国化であった。

それでも、たった5年でここまでの復興を果たしたのは連合国の尽力によるものだろう。

そんな事を考えながら、秋野義隆首相はGHQからの電話を受けた。

「もしもし」

「もしもし、首相ですか？」

掛けてきたのはGHQの日本人事務官らしい。

「そうですが、また何かトラブルが？」

「いいえ、情報です。首相、再軍備のお考えはございますか？」

一瞬、思考が停止した。

「ど、どういう事なのですか？」

「マッカーサー司令、ひいてはアメリカ本国の意向です。現在、朝鮮半島で何が起こっているかはご存知ですね？」

「ええ、金日成率いる北鮮軍と李承晩率いる南鮮軍が紛争を起している……」

「はい。現在、アメリカなど民主主義陣営は南鮮を全面的に支援しています。それに対してソ連や、つい最近中国全土を支配下に収めた中国共産党などは北鮮を支援しており、民主主義陣営と共産主義陣営との代理戦争的な面が顕著になりつつあります。そして、日本は現在民主主義陣営の前進基地となっており、北鮮軍からの攻撃が予想されますが、アメリカ軍は朝鮮半島への進出を行わなければならず、端的に言いますと、日本の防衛がから空きなのです。そのため、マッカーサー司令は日本の再軍備を検討していると言っ訳です」「つまり、厄介事は日本に押し付けよう、と？」「……恐らくは「秋野は長い間の後に、言った。」

「……わかりました。検討してみます」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4168i/>

架空第三次世界大戦～日本の未来は～

2010年10月21日22時31分発行